

枚方市における 在宅医療・介護連携の 推進の取組みについて

令和5年3月24日



令和5年1月認知症研修会の様子



枚方市駅イベントの様子

枚方市の取り組み～地域包括ケアシステムの構築～

「地域包括ケアシステム」は、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制です。

ひらかた高齢者保健福祉計画21（第8期）第6章

第8期（令和3年度～5年度）「これまでの地域包括ケアシステムの深化・推進」

- ・ **保健・医療・介護・福祉の連携強化**
- ・ **認知症支援策の推進**
 - ・ 介護予防・生活支援サービスの基盤整備の推進
 - ・ 介護予防と健康づくりの取組みの推進
 - ・ 地域支え合い体制の整備
 - ・ 高齢者の多様なニーズに対応する生活支援サービスの提供

枚方市の取り組み～イメージ～

在宅医療・介護連携推進事業

事務局会議：枚方市医師会、市

多職種連携
検討部会

多職種連携
研究会
(日常生活圏域)

- ◆多職種連携の推進、ネットワーク構築
- ◆地域の医療・介護の資源の把握・情報共有の支援
- ◆課題抽出と対応策の検討・提供体制の構築推進
- ◆在宅医療・介護連携に関する相談支援
- ◆医療・介護関係者の研修
- ◆地域住民への普及啓発

地域ケア推
進実務者連
絡協議会

課題の抽出
政策の企画・立案

連携

認知症施策

認知症
初期集中
支援検討
部会

- ◆認知症初期集中支援チームの設置
- ◆認知症ケアパスの作成
- ◆認知症地域支援推進員の配置
(健康福祉総合相談課 健康づくり・介護予防課
各地域包括支援センター)
- ◆徘徊高齢者の早期発見支援、ネットワーク構築
- ◆認知症サポーター養成、活動支援

連携

介護予防・日常生活支援総合事業の基盤整備

第1層協議体
(市全域)

第2層協議体
(日常生活圏域)

在宅医療・介護連携推進事業

(事業の経過)

在宅医療と介護の連携推進については、これまでの医政局施策である在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療連携推進事業（平成25年度～）の成果を踏まえ、介護保険制度改革において、介護保険法の中で恒久的な制度として位置づけられた。実施可能な市区町村は平成27年から取り組みを開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施することとなった。

国が示す「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」の（ア）から（ク）の全ての事業を実施する。

枚方市では、平成30年度から枚方市医師会に事業を委託し、市と協働で実施している。

なお、平成20年度より医療と介護関係団体による課題検討の場として「実務者推進連絡協議会」を開催しており、平成27年度より市全域の地域ケア会議に位置付けて実施している。

取組み内容及び実施状況について

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握 (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

内容等	時期等	備考
かかりつけ医マップ作成・配布 (市民向け)	令和4年10月	3,000部 配布先：市民、三師会、訪問看護ステーション連絡会等関係機関、地域包括支援センター、市担当課

(イ) 在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

(1) 医師会との打ち合わせ会議

本事業の企画・実施等に関する検討協議、情報共有等

月1回程度開催
(計12回予定)

メンバー 枚方市医師会、在宅医療連携・在宅支援コーディネーター、保健所、健康福祉政策課、長寿・介護保険課、健康づくり・介護予防課、健康福祉総合相談課

(2) コーディネーターの在宅医療・介護連携推進に関する会議等への参画

令和4年4月～令和5年3月

概ね 27回 (令和4年12月末時点)
多職種連携研究会、訪問看護ステーション連絡会等

取組み内容及び実施状況について

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- (1) 在宅医療・介護連携支援電話相談窓口の設置
- (2) 周知用チラシの作成配布、市ホームページ・医療・介護資源集に掲載

1) 令和4年4月～令和5年3月 週3回
(月・水・金曜日)
13時～17時

- 1) 相談件数8件 (令和5年2月末時点)
- 2) 配布先：三師会、市内介護保険事業所、地域包括支援センター、市担当課

令和4年度 枚方市在宅医療・介護連携推進事業

在宅療養支援のお困りごと、電話でお気軽にご相談ください！

医療・介護専門職向け

在宅医療 電話相談窓口

- ✓ 訪問診療や往診している医院を教えてください
- ✓ 医療系サービスと他の制度との調整方法
- ✓ 一人暮らしの方の在宅着取りを支援しているが…
- ✓ 医師との連携について
- ✓ 軽度の認知症が疑われる方の受診や支援について

このようなお悩みありませんか？
地域の訪問看護師が対応します！

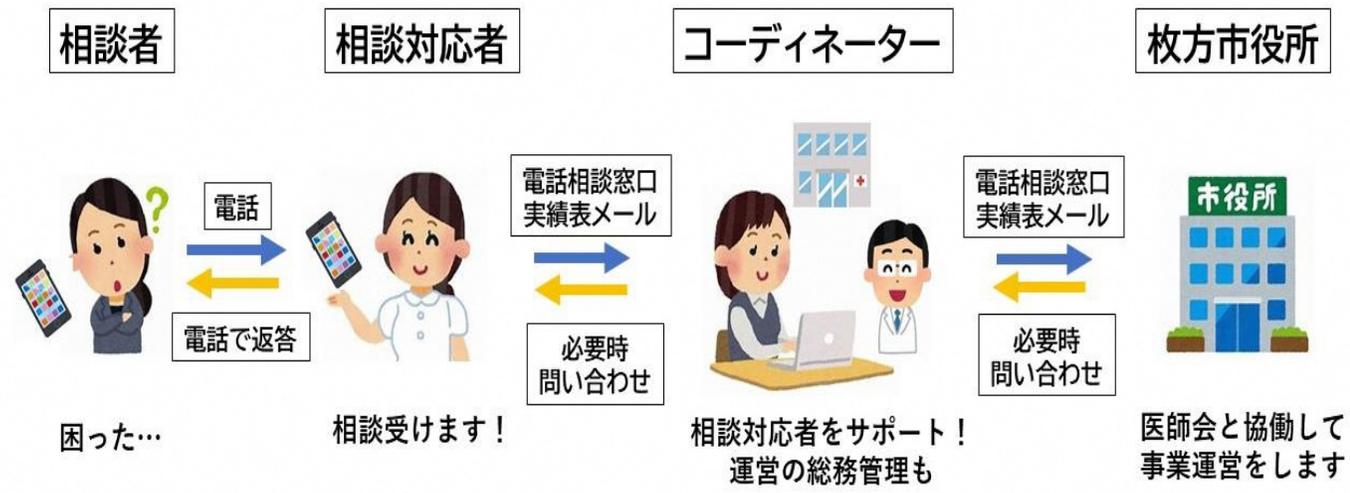
**開設日時：月・水・金曜日
午後1時～5時**

なお、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)はお休みです。

電話番号：080-8523-2882

【事業に関するお問合せ】
一般社団法人 枚方市医師会
電話 072-848-1600
枚方市 健康福祉総合相談課
電話 072-841-1401

- 身近な圏域内で連携強化・継続を目的に、市内訪問看護ステーション管理者が相談対応
- 医師会コーディネーター・バックアップ医師のフォロー体制を構築



取組み内容及び実施状況について

(イ) 在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討

認知症が心配になっても、必要な医療・サービスが円滑に受けられる体制を目指して

病院

かかりつけ医の機能

- ・日常の医学管理
- ・早期発見・早期対応
- ・本人・家族支援
- ・多職種連携 等

サポート医

- 1) 認知症の人の医療・介護に関わるかかりつけ医や介護専門職に対するサポート
- 2) 地域包括支援センターを中心とした多職種の連携作り
- 3) かかりつけ医認知症対応力向上研修の講師や住民等への啓発

専門医の機能

- ・鑑別診断
- ・若年性認知症の診断
- ・急激な症状の進行や重篤な身体合併症の対応 等

専門医療機関



シンポジウムの様子

(カ) 医療・介護関係者の研修

認知症支援体制構築【重点施策】

認知症疾患医療センター東香里病院研修
シンポジウム開催予定（枚方市医師会協働）
テーマ「認知症の方への支援体制構築」
65名出席

時期等

令和4年7月14日
枚方市医師会館

備考

- 認知症疾患医療センター・認知症サポート医・かかりつけ医の役割・機能を周知する
- 認知症疾患医療センター・認知症サポート医・かかりつけ医の支援体制の現状を把握、各機関の役割・機能を整理する

取組み内容及び実施状況について

初期集中支援チームロールプレイ



(カ) 医療・介護関係者の研修

認知症支援体制構築【重点施策】

在宅医療・介護連携推進事業関係機関向け研修
テーマ

- ① 『コロナ禍3年間の
地域医療における認知症診療』
講師：松尾 信郎氏（認知症サポート医）
- ② 『枚方市認知症初期集中支援チーム
～支援の始まりと連携の実際～』

出演者：枚方市医師会、東香里病院、
地域包括支援センター職員、市職員
78名出席

時期等 備考

令和5年1
月24日
枚方市
医師会館

- ① かかりつけ医・関係機関の認知症対応力向上を目指す
- ② 認知症初期集中支援チームを効果的に活用できるようになる、関係機関の役割・機能、地域包括支援センターの支援について再確認し、関係機関が一体となった支援体制の構築・推進を図る



認知症サポート医講演

取組み内容及び実施状況について

(キ) 地域住民への啓発

認知症早期発見・早期治療に向けた啓発 【重点施策】

時期等

備考

← 5本動画配信
再生回数60万回超え

認知症に関する動画・動画解説資料作成、 周知啓発



動画内容

- ① 認知症が心配なもの忘れ
- ② もの忘れ外来について
- ③ 認知症を支える枚方市の医療制度や相談窓口
- ④ 高齢ドライバーの認知機能検査

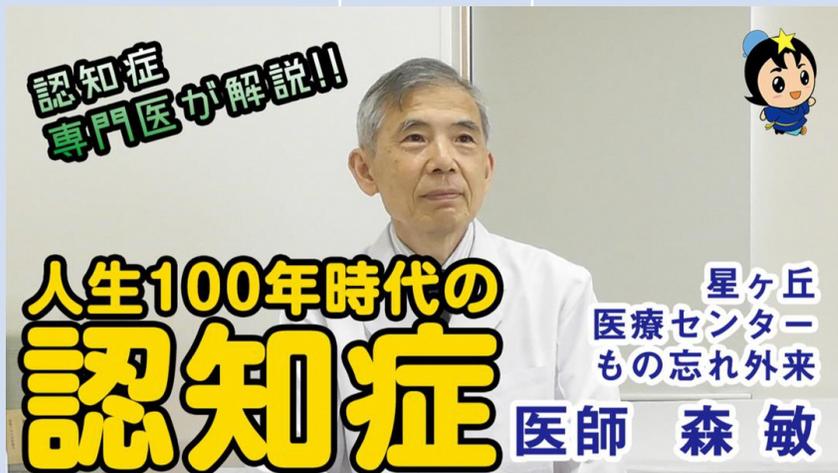
- ①～③
令和2年度
- ④
令和3年度
- ⑤
令和4年9月

- ・ 枚方市公式ユーチューブチャンネルにアップ
 - ・ 当課ホームページに動画・解説資料掲載
 - ・ 周知用チラシの作成・配布
- 三師会、介護支援専門員連絡協議会、地域包括支援センター、市役所・支所等窓口

NEW !!

⑤ 人生100年時代の 認知症高齢者

星ヶ丘医療センター
森 敏 医師



引き続き
周知・啓発に
ご理解・ご協力
をよろしく願
いします

取組み内容及び実施状況について

(キ) 地域住民への啓発

認知症早期発見・早期治療に向けた啓発【重点施策】

時期等

令和4年9月

①世界アルツハイマー月間イベント

テーマ：知ろう、気づこう認知症
見守ろう、支えよう大切な人

- 1) 市役所別館出入口啓発コーナー設置
- 2) 広報ひらかた9月号掲載
- 3) 枚方市公式ライン・Twitter・フェイスブック配信
- 4) 庁内館内放送にてアナウンス
- 5) 庁内関係部署に啓発ポケットティッシュ・チラシ設置



啓発カラーオレンジ色の啓発ティッシュ



市役所別館出入口啓発コーナー



医師会協同作成啓発チラシ

取組み内容及び実施状況について

(キ) 地域住民への啓発

ヒラリオン
ライトアップ

認知症早期発見・早期治療に
向けた啓発【重点施策】

時期等

備考

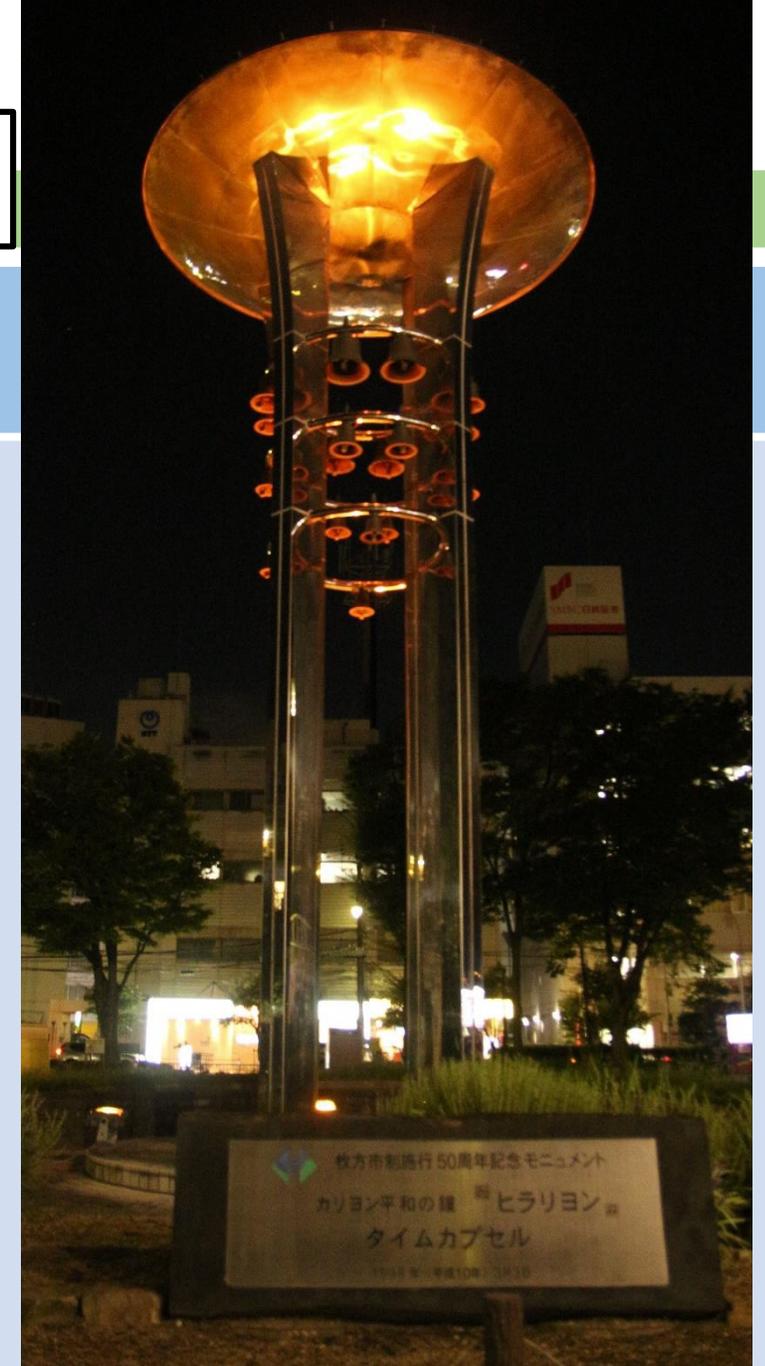
②世界アルツハイマーデー イベント

令和4年9月21日

- 1)京阪電鉄枚方市駅2階コンコース
啓発ポケットティッシュ・チラシ
1,400個配布
- 2)平和の鐘カリヨン
(ヒラリオン)
オレンジライトアップ



枚方市駅
イベントの様子



令和5年度にむけて【重点施策】認知症の普及啓発と連携体制構築

課題

認知症初期に、医療機関や相談窓口等につながっていないことが多く、市民への正しい知識の普及啓発が必要。また、必要な医療・サービスが円滑に受けられる体制を構築する必要がある。

医療と介護サービスについて理解を深めてもらえるよう、市民への普及啓発を図る

■認知症に関する普及・啓発

認知症講演会開催等による周知啓発、9月アルツハイマー月間等イベント開催

保健・医療・介護・福祉等の関係機関が連携し、支援体制を構築できる

■認知症連携体制に関する課題の抽出

多職種連携研究会等で関係機関より現状を聞き取り、連携面の課題や不足する資源等を抽出する

■認知症に関する知識・支援技術習得による対応力向上

関係機関向け研修会の開催

在宅医療・介護連携電話相談窓口の周知・活用促進、医療・介護資源集等の周知・活用促進

認知症サポート医の周知・活動支援

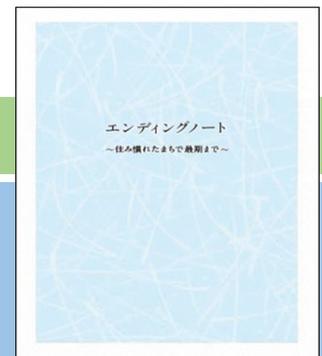
取組み内容及び実施状況について

(キ) 地域住民への啓発

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）普及啓発【重点施策】

時期等

備考



①エンディングノート・人生会議まるわかりガイド周知啓発

①
令和4年4月～

①エンディングノート印刷予定・人生会議まるわかりガイド（3,000部）再版
長寿・介護保険課、地域包括支援センター等で配布

②在宅医療・介護連携推進事業市民向け講演会（2回コース）

②
1回目：令和4年7月28日
枚方市
医師会館

1回目：私らしい生き方・逝き方のそなえ
～人生会議、ほんとうに大切なこと～
講師：外山 学氏(大阪府内科医会副会長)
56名参加

2回目：司法書士によるもしもに備える13のこと～成年後見・相続・遺言～
講師：餘家 守氏（成年後見センター・リーガルサポート大阪支部）
50名参加

2回目：令和4年8月19日
枚方市
医師会館



広報ひらかた
9月号終活特集



②市民へのACP周知啓発を目的に実施 13

取組み内容及び実施状況について

(キ) 地域住民への啓発

ACP普及啓発【重点施策】

③ 人生会議の日11月30日イベント

- 1) 広報ひらかた11月号掲載
- 2) 市役所別館出入口 啓発コーナー設置
- 3) 各支所や関係部署等にてポスター掲示
- 4) 市内医療機関院内ポスター掲示

天の川病院・関西医科大学附属病院・関西医科大学くずは病院・関西記念病院・香里ヶ丘有恵会病院・坂野病院・佐藤病院・市立ひらかた病院・新生病院・高井病院・津田病院・中村病院・東香里病院・枚方公済病院・福田総合病院・星ヶ丘医療センター・松谷病院・向山病院・吉田病院

- 5) 市役所別館2階・本館1階デジタルサイネージ人生会議画像放映

時期等

- ③
1) ~ 4)
令和4年
11月
5)
令和4年
4月~

人生会議ポスター(独居女性Vr.)

だから、あなたに話しくわ、私の気持ち。
しとくわ、人生会議。

自分はまだ大丈夫って思ってたけど、「いざって時は急に来るもんやで」って友だちに言われて、それもそうやなあ...と

人生会議とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療チーム等と話し合う取り組みの事です。

枚方市 人生会議 検索

お問い合わせ先：枚方市健康福祉総合相談担当 ☎841-1401 ファクス841-5711

揺れる思いごと、伝えてください。
人生会議。しましように

無理に話し合わなくてもいいんです。ただ、気持ちを話してみてもいいんですか？

人生会議とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療チーム等と話し合う取り組みの事です。

枚方市 人生会議 検索

健康福祉総合相談担当 ☎841-1401 ファクス841-5711

人生会議ポスター(医療機関Vr.)

令和5年度にむけて【重点施策】意思決定支援の取り組み

課題

市民が、自らの望む暮らしや人生の最期等について考えたり、周囲と話し合ったり、医療・介護を選択したりできるような環境や支援体制が整っていない

医療・介護等への理解を深めてもらえるよう、市民への普及啓発を図る

①ACPに関する普及・啓発

媒体（エンディングノート、人生会議パンフレット等）を活用・啓発、市民向け講演会の開催

保健・医療・介護・福祉等の関係機関が連携を図り、ACPに関する支援を提供できる

①ACPに関する知識・支援技術の習得・向上

媒体を活用・啓発、関係機関向け研修会の開催、在宅医療・介護連携電話相談窓口、医療・介護資源集等の周知・活用促進

②ACPに関する課題の抽出

在宅医療・介護連携電話相談窓口や多職種連携研究会、地域ケア推進実務者連絡協議会ACPワーキンググループの参加等で、関係機関より現状を聞き取り把握し、連携面の課題や不足する資源等を抽出する

関係機関と協働で取り組みを進めていく必要性がある！

「8つの事業項目」から「PDCAサイクルに沿った取組」への見直しイメージ

①地域の医療介護連携の実態把握、課題の検討、課題に応じた施策立案

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- 地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- 情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握・共有し、課題の抽出、対応策を検討

②地域の関係者との関係構築・人材育成

(カ) 医療・介護関係者の研修

- 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催 等

③ (ア) (イ) に基づいた取組の実施

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- 情報共有シート、地域連携バス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

(オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

- 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援

(キ) 地域住民への普及啓発

- 地域住民を対象としたシンポジウム等の開催
- パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- 在宅での看取りについての講演会の開催等

(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

事業全体の目的を明確化しつつPDCAサイクルに沿った取組を実施しやすくする
観点、地域の実情に応じてより柔軟な運用を可能にする観点からの見直し

地域のめざす理想像

- 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

①現状分析・課題抽出・施策立案

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- 地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- 情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出

- 将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計（在宅医療など）

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

②対応策の実施

(オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

- コーディネーターの配置等による相談窓口の設置
- 関係者の連携を支援する相談会の開催

(キ) 地域住民への普及啓発

- 地域住民等に対する講演会やシンポジウムの開催
- 周知資料やHP等の作成

+

<地域の実情を踏まえた柔軟な実施が可能>

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- 在宅での看取りや入退院時等に活用できるような情報共有ツールの作成・活用

(カ) 医療・介護関係者の研修

- 多職種の協働・連携に関する研修の実施（地域ケア会議含む）
- 医療・介護に関する研修の実施

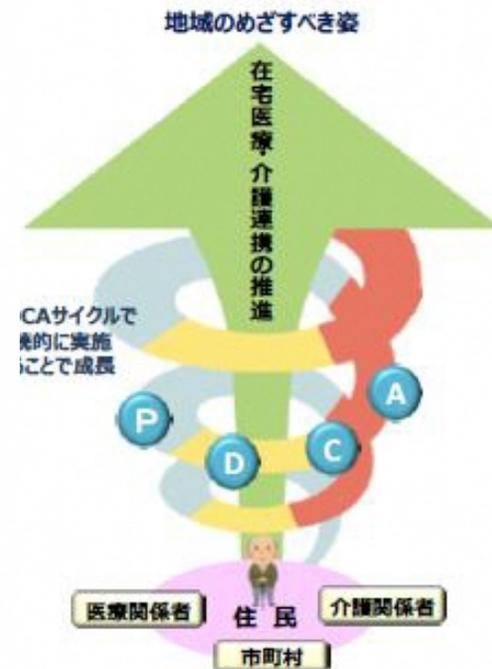
- 地域の実情に応じて行う医療・介護関係者への支援の実施

③対応策の評価・改善

都道府県主体の役割へ変更

（都道府県は、地域医療介護総合確保基金や保険者機能強化推進交付金等の財源を活用、また、保健所等を活用し、②対応策の実施も必要に応じ支援。）

●総合事業などの地域支援事業等との連携



資料：

資料：在宅医療・介護連携推進事業の手引きVer.3より抜粋

在宅医療・介護連携推進事業以外の事業等について

枚方市主催事業

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握 (イ) 在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

多職種連携：医療・介護専門職向け

地域ケア推進実務者連絡協議会

【参加団体】総合病院東香里病院（認知症疾患医療センター）、枚方ソーシャルワーク研究会
 枚方市介護支援専門員連絡協議会、枚方市訪問看護ステーション連絡会
 枚方市デイサービス連絡協議会、枚方市特別養護老人ホーム施設長会、枚方市訪問介護事業者会
 枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会、枚方市グループホーム連絡協議会
 関西医科大学附属病院地域医療連携部、枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会
 市立ひらかた病院、枚方市地域包括支援センター・枚方市保健所保健医療課・保健予防課
 健康福祉政策課、長寿・介護保険課、健康づくり・介護予防課、健康福祉総合相談課

時期等

令和4年3月24日
枚方市医師会館

備考

(キ) 地域住民への啓発

認知症の理解促進・啓発：市民向け

- ①テーマ：「絵本作家が伝える、認知症との触れ合い方」市民向け
 講師：ないとうともあき氏（絵本作家・介護福祉士）
 認知症を題材にした絵本『おもいでメガネ』の著者による認知症講演会 **55名出席**
- ②テーマ：「認知症フレンドリーキッズ授業」市内小学校向け（試行実施）
 VR疑似体験やグループワークを通して認知症を理解する授業

時期等

- ①令和5年1月21日
枚方T-SITE
- ②令和5年1月23日
～1月30日
市内小学校

T-SITE講演会の様子



在宅医療・介護連携推進事業以外の事業等について

枚方市難病対策分野 難病ネットワーク部会

部会構成団体：（企画運営団体）枚方市医師会・関西医科大学附属病院難病センター・枚方市保健所
（その他構成団体）枚方市歯科医師会・枚方市薬剤師会・星ヶ丘医療センター・枚方公済病院・市立ひらかた病院
枚方市病院協会・枚方市訪問看護ステーション連絡協議会・枚方ソーシャルワーク研究会

（イ）在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討 （ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

1.医療ネットワークの構築・多職種連携（医療職向け）

時期等

備考

実務者会議

在宅難病患者・家族が安心して療養できる医療・福祉のネットワークを構築するため、構成団体における意見交換や課題解決に向けた協議を実施。

令和5年3月1日
（水）14時～16時

参加者：部会構成11団体
（医師、歯科医師、薬剤師、看護師
ケースワーカー、行政等）

（カ）医療・介護関係者の研修

2.医療ネットワークの構築：研修会（医療・介護職向け）

時期等

備考

テーマ：個別事例検討会
講師：大阪樟蔭女子大学 学芸学部 心理学科 高橋裕子教授
内容：個別ケースカンファレンスにSVを招き、難病患者・家族について心理的側面から理解を深め、必要な支援について学ぶ。

令和4年11月8日
（火）14時～16時

参加者 15名
（訪問看護師、介護士、相談支援員、保健所保健師）

在宅医療・介護連携推進事業以外の事業等について

医療と介護の連携強化 ネットワーク

構成団体：星ヶ丘医療センター・枚方公済病院・市立ひらかた病院・枚方市保健所・枚方市病院協会・枚方市医師会・枚方市
構成団体以外：枚方市介護支援専門員連絡協議会・枚方市ソーシャルワーク研究会

- (イ) 在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

1医療と介護の連携強化ネットワーク部会	時期等	備考
部会の立ち上げ準備 ○部会メンバー、開催頻度、ワーキング等について検討後、 連携強化・課題解決に向け、取組を行う	構成団体等と開催時期 等調整中	
情報連携シート ○病院や施設と介護支援専門員の情報連携 実施主体：ひらねっと※		コンソーシアム連携事業「医療と介護の 連携強化ネットワーク」として周知、評 価予定 協力：枚方市介護支援専門員連絡協議会

令和4年度は実施できず